

音響機器の設計現場での音質評価



人材育成・技術伝承



信頼性・再現性

課題

カンコツのみに頼らない
定量化手法の構築



研究目的

評価語として**拡がり感**に
物理現象として**残響**
に注目

↓

主観量の定量化により
評価の信頼性向上
設計効率の改善に貢献



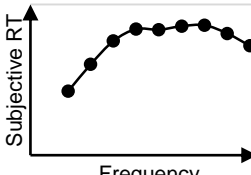
研究内容

残響時間の聴感特性と補整

残響時間の聴感特性の把握

↓

音圧レベル
残響時間
の操作による補整



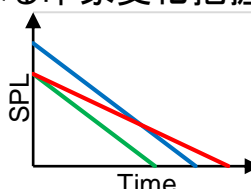
↓

帯域**体感残響時間**のばらつき抑制

主観評価による印象把握

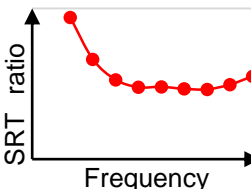
残響デザインによる印象変化把握

時間特性
周波数特性



評価方法

SD法
一対比較法



拡がり感推定モデルの構築

重回帰分析によるモデル構築

↓

主観評価結果を
数学的に**検証**

重回帰モデル

$$y = a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_nx_n + b$$

